宇都宮空き家会議通信

2019.10
vol 6

発行・編集 / 宇都宮空き家会議
協力 / 東峰西自治会

GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

グッドデザイン賞受賞

『とみくらみんなのリビング』のこれまでの道のりをご紹介

「宇都宮空き家会議」と「東峰西自治会」が取り組む空き家活用の協働事業「とみくらみんなのリビングプロジェクト」が公益財団法人日本デザイン振興会が主催する『グッドデザイン賞』を受賞しました。今号では、特集号としてこれまでの道のりと関係者へのインタビュー記事をお届けいたします。

2017.6 東峰西自治会から「とみくら」改修の相談が本会に寄せられる

2017.7 ① 集会所整備支援に向けた部会を初開催

2017.9 ② 地域の皆さんのご意見を伺うワークショップを宇都宮大学地域デザイン科学部の石井大一朗研究室が開催

2017.11 ③ 空き家の改修へ向け地域の皆さんが大掃除。大きな家財道具の処分は㈱ピースノートが支援

2017.12 ④ 第一期改修工事がスタート

2018.1 ⑤ 約3週間に及ぶ第一期改修工事が完了

2018.5 ⑥ 第一期工事の完了を祝し地域の皆さんと宇都宮大学の学生との交流会を開催。併せて第二期改修工事に向けたヒアリングも実施

2018.10 ⑦ ファサード案を模型で示しながら地域の皆さんと議論を重ねる

2018.12 土間と元クリーニング屋との間の壁の撤去，元タバコ販売窓口の改修も行うことを決定

2019.1 改修作業開始日と最終デザイン案を決定

2019.2 ⑧ 第二期改修工事スタート

2019.3 ⑨ 第二期改修工事（内装の追加工事とファサード整備）完成

2019.10 グッドデザイン賞受賞！

とみくらみんなのリビングプロジェクトとは
宇都宮空き家会議が中心となり、行政・自治会・大学・ＮＰＯ・事業者が協働により東峰町にある旧とみくら商店の再生に取り組み、住民と若者等が交流する新たなコミュニティの場を整備する事業

方向性の共有。

東峰西自治会の集会所整備を支援するにあたってどのように取り組むか。まずは部会の中で、プロジェクトの方向性を確認することから始まりました。

地域の歴史を紐解く。

このプロジェクトには、住民の理解と協力が欠かせません。
そのために、ワークショップ形式でかつての「とみくら商店」や地域の成り立ちなどを確認。また地域に「あったらいいな」などの意見を伺い、今の地域に必要な要素を抽出。これらの作業を通して住民の方々がこのプロジェクトを自分事として捉えていただけるように試みました。

セルフビルドのはじまり。

「できることはまず地域で行う。」という言葉どおり、地域の皆さんで大掃除を実施。本格的に始まるセルフビルドの第一歩となりました。また、予算に限りがある中、家財道具の運び出しと処分を㈱ピースノートが支援。多くの空き家で活用が進まない要因の一つにこの家財道具の処分がありますが、そこも地域とメンバーの協力で乗り越えていきます。

完成そして次のステージへ。

改修時期は冬ということもあり、寒い中での作業とはなりましたが、茂串さんと学生さんは最後までやり遂げてくれました。地域の方にとっても各段と使いやすさが増した新たな集会所に大変満足していただきました。
改修後はさっそくマジックショーや編み物教室など地域の皆さんで利用を開始。
しかしここからすでに、次なるステージへ向けた動きは始まっていました。

学生さんと賄いと。

㈱ピースノートの茂串建築士が現場監督となり、宇都宮大学安森亮雄研究室の学生さんが改修作業をお手伝い。始めは馴れない手つきながらも、さすがに飲み込みは早く、さらに作業も主体的に考えるようになり、「こうしたらどうか？」と提案する学生さんの姿は頼もしくもありました。
そして毎日の楽しみとなった、お母さん方が作る賄い。みんなで応援しているということが本当に良く伝わる賄いでありました。

※第一期工事完了時の模様は「空き家会議通信 vol3」で特集しています。ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。
宇都宮空き家会議 検索

意見交換を丁寧に重ねる。

第二期改修工事のメインとなるファサード整備においては、安森亮雄研究室を中心に、じっくりと意見交換を重ね、地域の皆さんが納得しながら一歩ずつ進めていきました。

催し物が盛りだくさん

オープンハウスを開催。

第一期改修工事のお披露目会では、演奏会や輪投げなどのレクリエーション、塩麹づくり体験など、地域の方々と石井大一朗研究室が実行委員会形式でイベントを企画。新しくなるこの「とみくら」をどう使い倒していくか。改修作業と並行して検討が進みます。

アイデアの具現化へ。

「体操をするスペースが欲しい」という地域の皆さんの声や学生さんがメインでデザインしたファサードのアイデアを具現化しようと、現場での改修作業が始まりました。そこでは「学生さんのアイデアを寸分たがわず実現させてあげたい」という熱い想いを持つ茂串さんが大奮闘。
天候に恵まれなかったことなどで若干の工期の延長はありましたが、第二期改修工事もみんなの力で無事完遂。設計者の学生さんも納得の出来となりました。

再び地域の交流拠点に。

「セルフビルド」という形で取り組んできた今回の支援プロジェクトは、これまでに携わっていただいた誰か一人でも欠けていたら実現はしなかったプロジェクトです。この取組は、空き家の活用が単なる「建物の改修」だけではなく「地域コミュニティの再生」や「若者などの人づくり」に貢献できることを示す事例になったと思います。この「とみくら」が、かつての「とみくら商店」のように、地域の方々の交流拠点として活用されていくことを期待しています。

石井ゼミの夜ご飯会

グッドデザイン賞受賞概要
受賞企業　宇都宮空き家会議・東峰西自治会
審査員の評価
「元タバコ屋・駄菓子屋をコミュニティの拠点に」との目標をかかげ、宇都宮空き家会議の下に、市、自治会、大学、ＮＰＯ、工務店が集まり、セルフビルドで建てられたという。その建てられた経緯が特異なリノベーションプロジェクト。建築が本来、建てること自体が地域の祝祭であって、その行為を通して地域コミュニティを育んでいたことを思い起こさせてくれる。自分たちが作り上げた場所は愛着があり自然に人が集まる。出来上がった姿も施工上の工夫も感じられる細い線材を組み合わせて作られた魅力ある建物形状で、地域のアイコンとなっている。
プロデューサー　東峰西自治会　室井光，伊藤武，関澤美智子　ディレクター　宇都宮空き家会議　宇都宮大学地域デザイン科学部　石井大一朗，安森亮雄／ＮＰＯ法人とちぎユースサポーターズネットワーク　岩井俊宗／株式会社ピースノート　河村公威，茂串充紘／宇都宮市　伊澤徹，福田龍司
デザイナー　宇都宮大学安森亮雄研究室　安森亮雄，塚本琢也，松本大知＋株式会社ピースノート　茂串充紘

株式会社しらさぎ不動産

宇都宮南部の事なら
おまかせください

〒321-0134
宇都宮市高砂町3-9
☎028-655-2702
しらさぎ不動産 検索
http://www.shirasagi-k.com

不動産売買・賃貸・仲介

株式会社ジャスティス

JUSTICE
〒320-0857 宇都宮市鶴田 1-3-13
☎ 028-666-4305
[定休日] 日曜・祝日
[営業時間] 9:30～18:00
FAX 028-666-4306 E-mail justice@mild.ocn.ne.jp

不動産の売買・有効活用のことなら
株式会社テックスへお任せ下さい！

☎028-666-0006

TEX 株式会社テックス

〒321-0169 宇都宮市八千代2-3-14
[定休日] 日・祝 [営業時間] 9:30～17:30
E-mail tex19@eagle.ocn.ne.jp

不動産 売買・管理・相続・空地空家対策

あした住む家。
ASM アスム株式会社

お客様の大切な不動産を
宇都宮市エリア に強い当社が、

査定 売却 買取 いたします。

土地・戸建・マンションの
「売りたい」「買いたい」や
不動産管理、相続に関する相談、空地空家に
関する相談などお気軽に当社にお電話ください。

不動産 無料査定

営業時間 9：30～19：00 定休日：なし
宇都宮市中今泉 1 丁目 13-12
TEL028-666-5366

空き家対策と信託手続きのお手伝い

株式会社ゆうわ

お住まい、土地活用に関するご相談は
積水ハウスまで！

SEKISUI HOUSE GROUP

積水ハウス株式会社 宇都宮支店
〒321-0935 宇都宮市城東一丁目11番5
TEL 0120-322-266

宇都宮空き家会議を
応援しています！

弁護士法人
ほたか総合法律事務所
Hotaka General Law Office

〒320-0863
栃木県宇都宮市操町４番５号
HOTAKA ビル３F
TEL 028-636-6701

空き家の有効活用

使わない 戸建 貸してください
古いお家でも大丈夫!ぜひご連絡下さい!

株式会社アイソケット
TEL.028-678-5272
http://isocket.work

ご相談はお近くの〈あしぎん〉まで！

空き家対策ローン

足利銀行 あしぎん 検索

空き家対策は とちぎん へ！

新型
リフォームローン

リバース
モーゲージローン

TOCHIGIN 栃木銀行

草刈り 遺品整理 解体

空き家のことなら まるっと お任せください。

お見積 無料
お気軽にどうぞ♪

空家管理士・遺品整理士・増改築相談員がいる会社です。

株式会社ピースノート
We want to make piece note of happiness.

〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町1427
お問合先 028-680-6380
営業時間 9:00～17:30

詳細は
ホーム
ページへ
http://piece-note.com/

空家管理士 / 遺品整理士 (認定 第ISO3614 号)/ とび土木工事業 建築工事業 解体工事業 栃木県知事許可(般-30) 第 24326号 / 産業廃棄物収集運搬業栃木県知事許可第00900164065号

REAL PARTNER

宅建協会
TEL028-634-5611

安心・安全な取引をサポートします

全日 保証
BEST INFORMATION ON REAL ESTATE

（公社）全日本不動産協会
（公社）不動産保証協会
栃木県本部
宇都宮市中央 1-9-11 大銀杏ビル７階
TEL 028-666-4554

宇都宮建設事業協同組合

理事長 増 渕 薫

宇都宮市簗瀬町１９５８番地１
ＴＥＬ０２８（６３６）５２２１

一確かな技術力で
快適空間を創出一

栃木県造園建設業協同組合

栃木県宇都宮市川田町 108－3
TEL : 028 － 612－2442
FAX : 028 － 612－2289
MAIL : tochigi@jalc.or.jp

栃木県司法書士会

相続・遺言・売買・成年後見
土曜日無料相談会開催中

お問合せ
☎028-614-1122
県内５会場で実施。開催日等の
詳しい情報はＨＰをご覧ください。

栃木県司法書士会 検索

宇都宮空き家会議を
応援しています！

佐藤達也
税理士事務所

〒321-0954
宇都宮市元今泉 5-5-3 パークフィニ１F
☎ 028-666-8775
www.kaikei-home.com/sthtty/

メンバーインタビュー

『とみくらみんなのリビング』のこれまでとこれから

「とみくら」に携わる方々には、それぞれに持つ想いがあります。どんな想いでこのプロジェクトに取り組んでいたのか。そしてそれぞれの立場でのこれからとは。

—二年がかりのプロジェクトが終了しました。今のお気持ちは。

室井東峰西自治会長（以下、会長）：この東峰西自治会は、陽東地区の連合自治会の中でも飛び地になるような所で高齢者が多いんです。今までは俗に玄界灘と呼んでいるけれども、交通量の多い危険な国道を渡ってコミュニティセンターまで通っていました。役員も７０歳代以上が多い中で、会合をするにしても危険なところを行ったり来たりする状態でしたが、このような場所に素晴らしい集会所を作っていただいて、本当に感謝しています。

—伊藤さんは改修作業の中心的な役割も担っていただきました。

伊藤副会長（以下、伊藤）：このプロジェクトを成功させるために、皆さんに無駄なことをさせないように事前の準備を怠らないように努力していました。皆さんにご協力いただく中で、自治会としても関わっているという姿勢を見せないと、自治会自体が盛り上がってこないと思っていましたので。

—今後の活用は。

伊藤：これからは憩いの場、居場所づくりに力を入れてやっていきたい。施設が完成したけれども、まだ地域の皆さんすべてに利用してもらうまでには至っていませんので、今後はそちらにも力を入れていきたいです。今度、映画鑑賞会なども企画しているんですが、映画の題材なんかも地域の皆さんが選んでくれるといいですよね。

—この取組は所有者である関澤さんの協力なしには実現できませんでした。

関澤：空き家にしておくといろいろな心配がありますよね。知らない人に入られないかとか、火をつけられるのではないかとか。自治会に管理してもらえるということで、そういった面ではすごく気が楽になりましたし、地域に貸して良かったなと思っています。私も地域の仕事をしていて、会議でコミセンまで行くときは本当に大変でしたけれど、これからはここでできるので本当に便利になりました。

—形は変わりましたが以前のように地域の方々が集う場所となりましたね。

関澤：そうですね。特に地域の女性の方に会うと、ただ何をするではなくて、おしゃべりをする場が欲しいという声が多かったんです。今は皆さんが散歩の後に外のベンチに座っておしゃべりをしている風景を見ると、ああよかったなあって思いますよね。

—茂串さんは現場監督として学生さんたちを指導してくださいました。

茂串：私は学生さんの設計を寸分たがわず表現することが目標でした。私も長くものづくりに携わってきましたが、会社に属していると利益を追求するとか工期を守るとか、そのようなことが優先されていた気がします。でも、ここで学生さんたちと一緒に作業をして、ものづくりの原点はこういうことだったなと、逆に学生さんたちに教えてもらった気がします。

—実際の作業で難しかったことは。

茂串：ファサードの作り方ですね。学生さんの設計を見たときに最初はちょっと無理かなと。もっと柱を増やそうとか提案しようと思ったんですが、学生さんがこれで行くと考えたものですから、何とか知恵を絞りました。

—いろいろな方の協力がなければ実現しなかったプロジェクトでしたね。

関澤：そうですね。みんなが一体になれたから出来たんですよね。地域の女性の方々もお昼を一生懸命作ってくれて、学生さんもそれが楽しみで「今日は何が出るの？」「教えない（笑）」みたいなやりとりとかもありましたし、すごく楽しくできましたね。

茂串：建築というのが本来そういうことなんですよね。皆さんから賄いをいただいたり、作業を手伝ってもらったりしてみんなで実現していく。

—グッドデザイン賞の審査員もそのような点を評価してくださいました。

会長：本当にここは小さな自治会だけれども、この「とみくら」の存在はものすごく大きいですよ。先ほどの話にもあったように、いくつかの条件が全て揃ったからこそ実現ができた。市の援助もいただいて、関澤さんの協力がなければダメであったし、伊藤さんのように世話役の人がいて、そして損得を別に協力をしてくれるピースノートさんがいて、宇都宮大学の学生さんも頭が下がるほど頑張ってくれた。

関澤：寒い時期にも夜暗くなるまでね。

「自分のデザインが広く受け入れられたのが、これからの自信になりました。」（松本氏）

「ものづくりの原点を学生さんに思い知らされた」（茂串氏）

茂串：学生さんはこのような現場を経験するというのはあまり無いと思うので、すごくいい経験になったのかなと思います。作業を進める中で本当はこうやって作るんだけど、これはプロじゃないと難しいから、同じような見かけにはなるもっと簡単な方法でやりましょうと提案しても、一度本来のやり方でやらせてくださいと言ってきますからね。その辺がすごいなと思いました。私たちはどうしても予算とか納期を考えてしまいますが、本来のものづくりというのは手間暇をかけてやるものなんだなと思いましたね。

—完成してからの皆さんの評判は。

関澤：地域の方は喜んでいるよね。この自治会って、新しく家を建てる高齢者の方が多いんです。割とつながりって弱かったんですよね。だけどこの集会所ができてつながりも増えてきて、より親密になったなと感じます。

会長：自治会としては最高に嬉しいことです。

—ファサードデザインの着想は。

松本：「とみくら商店」の雰囲気を残しつつ、新しい良さを作りたいというのが大前提にありました。特徴的な看板建築を生かしたくて、スケルトンというか表面をうまく見せるように格子を組み合わせるということと、皆さんの拠り所になるように庇空間も必要だなと感じていて、デザインを考えるにはそこが最初だったと思います。

—庇空間のベンチに散歩をした地域の人が集まっておしゃべりをするという話がありました。

松本：そうですね。自動販売機もあったので、それが近くにあることで飲み物を飲みながらゆっくりするというのが当初からのねらいでした。

—改修作業も頑張ってくれました。大学で現場を経験することは。

松本：ほとんどないですね。現場では、その場で考えることが多くて、タバコの販売台も作り直そうという話がありましたが、やはり残すべきだとなって、既存のデザインを生かすということを考えながら、現場で見た雰囲気をうまく生かすように心がけました。大学の授業ではこのような機会が無い中、実際に現場で触れて良い物を作るというのは、このセルフビルドで関わってきた中で一番面白いところでした。

—そのような中で茂串さんの存在は。

松本：ファサードを看板で吊って壁を無くすというアイデアは茂串さんのアドバイスがあったからで、看板を生かした設計をする中で自分の技術的に足りなかった部分を茂串さんのお力添えをいただいて自分が納得できる設計に出来たことは本当に感謝しています。

茂串：学生さんが考えたことなので何とか実現させたいという想いだけで。無いなりに知恵を絞りました（笑）。

—ほかの学生さんの評判は。

松本：実際に自分たちの手で作るというのは本当に経験できないので、良い経験になったと話している人もいましたし、同じ宇都宮大学の石井大一朗先生がゼミでここを使った時もタバコの販売台の雰囲気がいいよねとか言ってくれました。学生目線で見ても良いものができたなと思います。

—グッドデザイン賞の申請も中心的にやってくれました。

松本：改修をしているときは単に楽しくてやっていた感じでした。あまり賞のことは考えていなくて、改修作業が終わってからこれまでの取組を冷静に見つめ直して、どういう意味合いをもって作ってきたかを確認しながら申請書類を作っていました。

—実際に受賞した時のお気持ちは。

松本：いやー嬉しかったです。実際に設計のコンペでもこういう賞を取ったことがなかったので、初めて経歴に書ける賞というか、自分のデザインが広く受け入れられたのが、これからの自信にもなりました。研究室の安森先生も大変喜んでくださいました。

—デザイナーとして受賞したという自信を持って、今後も頑張ってください。最後に、茂串さんから松本さんへ一言。

茂串：ものづくりの原点を学生さんに思い知らされましたし、私のほうが勉強になりました。作業も率先して、最後までめげずに頑張ってくれました。

この「とみくら」で、空き家活用の様々な可能性を改めて再認識することとなりました。本会は今後も一歩ずつ、この『官民連携』を実現してまいります。

member profile

室井 光（むろい ひかる）
東峰西自治会長。この方のリーダーとしての行動からこのプロジェクトは始まる。

伊藤 武（いとう たけし）
東峰西自治会副会長。誰もが信頼する「とみくら」の管理責任者。

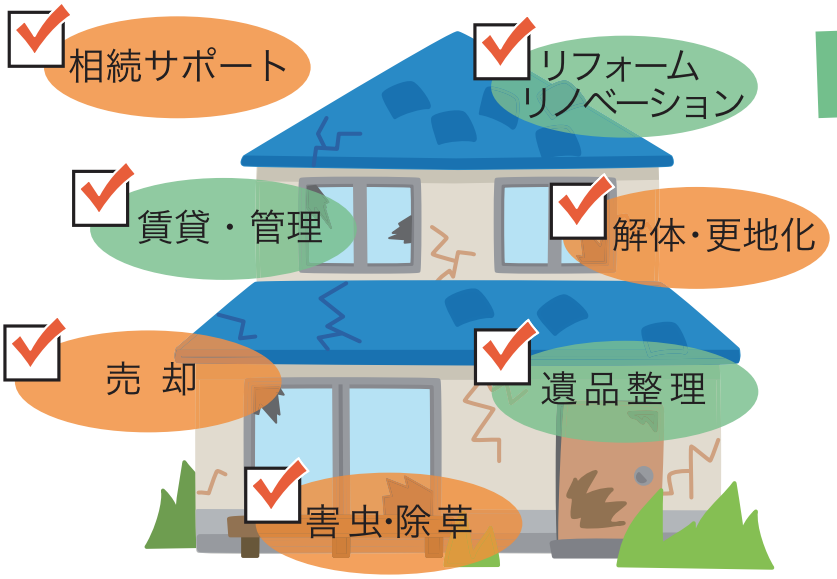
関澤美智子（せきざわみちこ）
「とみくら」の所有者。学生さんに接する温かさはまさに「とみくらの母」。

茂串 充紘（もぐし みつひろ）
改修作業のＭＶＰ。学生さん想いの信念は感動的。㈱ピースノート所属。

松本 大知（まつもと だいち）
ファサードのデザインをメインで担当。宇都宮大学安森亮雄研究室所属。

REVIVEHOME
リバイブホーム

空き家でお困りのこと 何でも対応いたします


相続サポート
リフォーム
リノベーション
賃貸・管理
解体・更地化
売却
遺品整理
害虫・除草

あなたのお困り
何でもご相談下さい！

賃貸・売却など
「利活用」の為の
リフォーム実績
多数あり!!

REVIVEHOME
リバイブホーム
0120-312-115

空き家
空き地
貸家・貸地
でもOK!

『住んだまま買取り』はじめました!!

お住まいになったまま 不動産を現金化／ご相談・査定は無料です！

『住んだまま買取り』は、現在の家に『住んだまま』の状態で不動産を現金化できるから安心です。しかも嬉しい現金一括のお支払い！仲介売却でないため、ご近所の方に知られることなく自宅を現金化できます。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

買取条件
築年数は
問わず査定
いたします。

宇都宮空き家会議
空き家・空き地対策官民連携組織
宇都宮空き家会議

弊社は宇都宮空き家会議の
協力事業者です。

栃木県宅地建物取引業協会会員 栃木県知事免許（1）4951号
株式会社 デイ・リバー
〒320-0033 宇都宮市本町10-18
まずはお電話を
TEL.028-689-9687
E-Mail contact@dayriver.jp
デイリバー 検索
http://dayriver.jp/